

学校名 指宿市立今和泉小学校

項 目	活動内容等
1 活動内容等	<p>指宿市立今和泉小学校は、学校前に広がる松原や海岸を活用した教育活動を推進しており、それらの教育活動の中で芽生える「今和泉の美しい環境を守りたい。」という子供たちの思いを生かしながら環境美化に取り組んでいる学校である。</p> <p>また、学校教育活動だけでなくPTA行事や地元の漁協とも連携を図りながら環境美化に対する子供たちの意識を高めている。</p>
2 活動状況等 (1) 活動の動機・頻度 ① 活動を始めた動機及び開始年月	<p>平成元年度からPTA主催遠泳大会を実施しており、それを機に大会前に海岸清掃を実施するようになった。</p> <p>また、地元の漁協が主催する「うみべの教室」の中で実施しているヒラメの放流体験を通して、海をきれいにすることの大切さを、子供たちは学んでいる。</p> <p>さらに、一昨年ウミガメが数年ぶりに今和泉の海岸で産卵したことをきっかけに、総合的な学習の時間でウミガメについて調べる学習を行った5年生の子供たちが、海岸をきれいにすることの必要性を感じ海岸清掃を自ら計画し実施した。</p> <p>松原清掃は、平成20年のNHK大河ドラマ「篤姫」の放送をきっかけに、篤姫ゆかりの地である今和泉の松原にも多くの観光客が訪れるようになったことから、学校前の松原の清掃活動も実施することになった。</p>
② 活動の愛称名があれば記入して下さい	なし
③ 月間又は年間活動回数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海岸清掃 年2回(PTAと合同1回,子供たちだけの清掃1回) ○ 松原清掃 年10回程度

項 目	活動内容等
④ 活動のエリア	今和泉小学校前海岸 約 200m程度 学校前の松原
⑤ 活動 1 回当たりの平均参加者数	P T A 合同海岸清掃 約 35 人 児童のみの海岸清掃 約 13 人 松原清掃 約 7 人
⑥ 活動 1 回当たりの平均時間	海岸清掃 20 分間程度 松原清掃 15 分間程度
⑦ 収集ごみの処分	海岸清掃のゴミ・・・分別してゴミステーションへ 松原清掃・・・集めた松の落ち葉は、地域の農家の方に肥料として提供。
(2) 活動の独創性 活動の特徴	伝統となった遠泳大会を毎年きれいな海岸で実施したいという子供たちの願いや、総合的な学習の中で学んだことを通して、環境美化を行いたいという子供たちの意欲を高めている。
(3) 地域への貢献度 ① 地域の環境美化への貢献	子供たちが掃除してきれいになった海岸や松原は、今和泉を訪れる観光客を気持ちよく迎えることにつながっている。 また、松原掃除で集めた松の落ち葉は、肥料として活用されており、地域の農家の方に貢献している。
② 地域住民との協力活動	遠泳大会の実施、ヒラメの放流活動等による「今和泉の環境を守ろう。」という内発的な動機付けは、地域や保護者や関係機関との連携を図りながら実施している。
③ 児童・生徒の活動に対する地域住民の反応	子供たちの活動内容は、学校便り等で地域住民にも紹介しているため、学校便りを見た地域住民から「子供たちは頑張っていますね。」と励ましの声が学校に届いている。 また、肥料として活用している農家の方からは大変喜ばれ感謝されている。

項 目	活動内容等
<p>(4) 環境教育との関連</p> <p>① 環境教育と活動との結びつき</p> <p>② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化</p> <p>③ 当該活動以外の環境教育実践活動</p>	<p>総合的な学習の時間の中に位置付けられている「うみべの教室」や、日本財団海と日本プロジェクト「こども海ごみ調査団」での水中ドローンを利用した海底のゴミ調査等の環境教育と関連付けて、美化活動の必要性を子供たちに感じさせるようにしている。</p> <p>子供たちは、海の生物との共存と関連付けて、環境美化の重要性を感じているようである。</p> <p>また、環境美化のみならず、地域の観光にも貢献していることに喜びを感じながら美化活動に取り組んでいる。</p> <p>○ 学校 ISO への取組</p> <p>○ 日本財団海と日本プロジェクトによるオンラインでの環境に関するシンポジウムへの参加（令和4年2月）</p> <p>○ R4.10.7 に5年生が岩本漁協の協力で出前授業（海の環境を守るために海藻を育てる事の大切さを学習。）</p>
<p>(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか</p>	<p>受賞歴なし。</p>
<p>(6) 校内外活動のための時間の作り方</p>	<p>（海岸清掃）</p> <p>総合的な学習の時間への位置付けや、土曜授業日及びPTA活動時を利用した活動の実施</p> <p>（松原清掃）</p> <p>学校の清掃の時間を利用し年10回程度実施</p>
<p>3 その他特記事項</p>	<p>特になし</p>

I 活動状況等

(I) 活動の動機

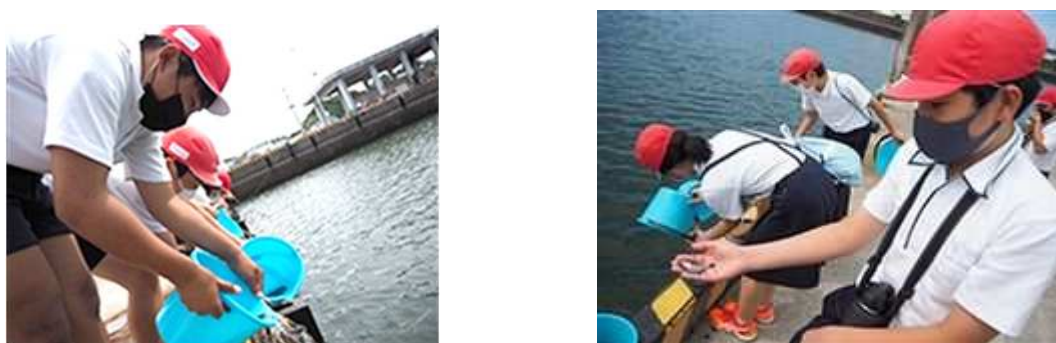
① 海岸清掃

平成元年度から、PTA主催遠泳大会を実施しており、それを機に大会前に海岸清掃を実施するようになった。



【PTA主催遠泳大会の様子】

また、地元の漁協が主催する「うみべの教室」の中で実施している鯛やヒラメの稚魚の放流体験をとおして、海を大切にすることの大切さを学んでいる。



【鯛やヒラメの放流体験】

さらに、去年は数年ぶりに今和泉の海岸にウミガメが産卵し、産卵場所を観察したり卵に触れたりしたことをきっかけに、総合的な学習の時間でウミガメについて調べる学習を行った5年生が自ら海岸清掃を計画・実施した。



【海岸に残ったウミガメの通った跡】



【ウミガメの通った跡を観察する子供たち】

② 松原清掃

平成 20 年度のNHK大河ドラマ「篤姫」をきっかけに、多くの観光客が篤姫ゆかりの地である今和泉の松原を訪れるようになったことから、学校前の松原の清掃を行い始めた。



【現在も学校前の海岸や松原を訪れる観光客】

(2) 活動の回数

① 海岸清掃 年 2 回



【PTAと合同の清掃の様子】

【子供たちによる清掃活動の様子】

② 松原清掃 年 10 回程度



【松原の除草作業の様子】



【松原の松の落ち葉清掃の様子】

③ 海藻生育と海的环境学習 5 年生

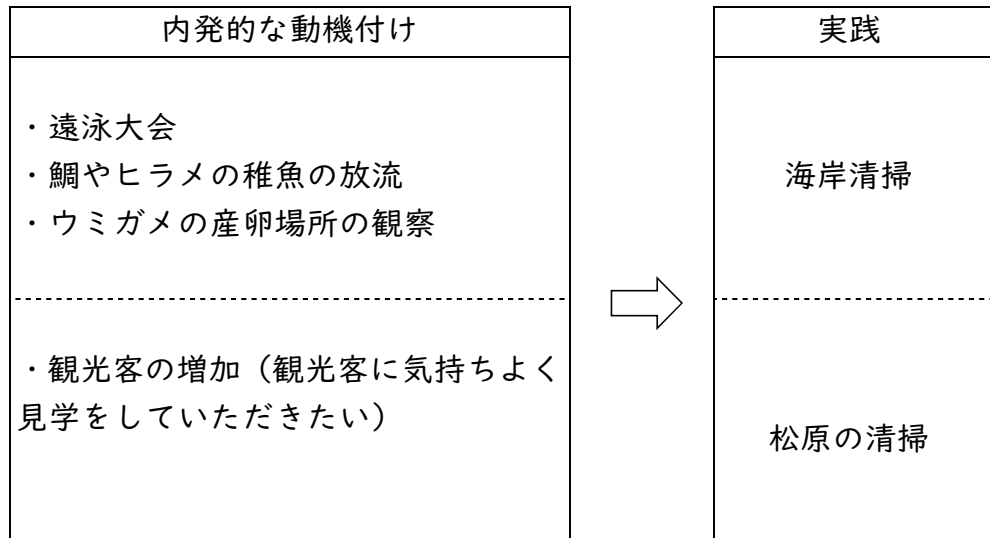


【岩本漁協出前授業】

(3) 活動の独創性・活動の特徴

総合的な学習の時間やPTA活動・地域の実情との関連の中で、子供たちの美化活動に対する意欲を十分に高め、実践を行っている点に大きな特徴がある。

また、地域・保護者・関係機関と連携を図り意欲化に結びつく活動を実施している。



(4) 地域への貢献

- ① 今和泉を訪れる観光客を気持ちよく迎えることにつながる。
- ② 子供たちが松原で集めた松の落ち葉は、1か所に集めておくと、地域の農家の方が肥料として活用するために収集に来ており、大変喜ばれている。



【松の落ち葉を集める子供】